



## 園だより（年長つき組）

雨が続き、室内で過ごす時間が増えましたが、遊戯室で体を動かしたり、部屋で製作をしたり、グループ活動を通して年少さんとの関わりを楽しんだり、天候に応じた楽しみを見つけながら過ごしました。明日で、第1学期が終わり、夏休みに入ります。コロナ禍ではありますが、体調管理に気を付けながら、いろいろな体験ができるといいですね。第2学期に子どもたちから楽しい報告が聞けるのを楽しみにしています。

### 好きな遊びを通して

第1学期は、戸外遊びをたくさん楽しみました。繰り返し遊ぶ中でいろいろな遊びに興味をもち、取り組むようになってきたり、取り組んでいる遊びをより楽しむために友達と力を合わせたり、考えを出し合ったりする姿がたくさん見られました。



サッカーでは、夢中になってボールを追いかける中で、得点を意識するようになりました。負けていたり、点差が縮まったりしているときの表情は真剣そのものでした。



捕まえたチョウチョウが入った虫かごに、もう1匹チョウチョウを入れようとしている子どもたち。どうしたら、逃がさずに入れられるのか。3人で知恵を出し合っていました。



どんなコースを作ろうかなと友達と一緒に工夫しながら並べていました。年少さんが取り組み始めると「手伝おうか。」と進んで声をかけていました。



水を足元にかけたり、頭からかぶったりしながら水の感触を思いきり楽しんだ水遊び。「冷たいね。」「気持ちいいね。」と子ども同士、共感しながら遊んでいました。



リレーの作戦会議中。相手チームに作戦が聞かれないように、小声で話したり、「オー!!!」と掛け声をかけたりして心をひとつにしていました。

### お店屋さんごっこ

家の人のプレゼント作りがきっかけとなり、紙粘土に興味をもったことから始まったお店屋さんごっこ。「さくらさんを招待したい。」という共通の目的に向かって少しずつ準備を進めていました。



「一人3個ずつくらい、買えるようにしたい。」とお店に必要な物の数を決め、数を数えながら準備を進めていました。



「私は、レジを作るね。「じゃあ、僕はお金を作ろう。」とお店を開くために必要な物を分担しながら作っていました。



年少さんへの招待状作り。「年少さんに伝えるように、書く内容を考え、「絵もあるといいよね。」とみんなで少しずつ作りました。



「どれにする?」「3個まで買っていいよ。」など年少さんの様子を見ながら声を掛けていました。



家に持ち帰りやすいようにと袋に入れてあげました。手作りの袋は「どれがいい?」と年少さんが好きな柄の袋を選ぶようにしていました。

### グループ活動



冒険ごっこや家の隣に大きな公園があるという設定の家ごっこなど、クラスで楽しんだ遊びを年少さんに伝えながらグループ活動を進めていました。『自分たちが楽しいことは年少組の友達も楽しいと感じるのではないか。』と相手の気持ちを考えながら取り組んでいました。



### 畑で…



梅雨の晴れ間に畑に行きました。「土の栄養とられちゃうね。」と草取りを一生懸命頑張っていました。バッタをたくさん見つけ、クラスに戻ると図鑑で『バッタの飼ひ方』を調べていました。

## 9人のなかまたち



今月、初めてつきぐみが、全員揃いました。また短い間ですが、新しい仲間も増えて9人になりました。こいのぼり作りや、年少さんとのグループ活動では、同じ目的に向かって、友達と力を合わせて活動を進めることができました。その中で、ときには友達と意見が合わなかったり、自分の思う通りに活動が進まなかったりすることもありました。『自分の思いは譲れない。』『どうしよう…。』と葛藤しつつも、『どうする？』と友達の意見に耳を傾けようとする姿がみられました。また、お店屋さんごっこでは、時間をかけて準備した分、高まる期待から、年少さんの前でも家の人の前でもやや緊張気味だった子どもたち。そんなときには自然と隣の友達と肩がくっついたり、手を握ったりして、友達の存在が勇気の源になっているようでした。

自分と違う意見をもっていたり、自分の思う通りに動いてくれなかったりすること。一緒にいると一人では出せない勇氣や、意欲が湧いてきたりすることなどをたくさん学んでいたように感じました。

つきぐみのみんなへ

一人一人の個性を發揮し、友達を受け入れたり、認め合ったりしながら一緒に大きくなろうね。第2学期はどんな姿を見せてくれるのか楽しみにしています。

そして、Sくん。短い間だけどつき組の仲間になってくれてありがとう！離れていてもずっと友達だよ！！また会おうね！！